

～ 火曜ジャズナイト&ジャズフェスティバル ～

第2・第4火曜日の18時～21時まで、帰宅途中の会社員をターゲットに、街区内の3ヶ所でジャズの路上ライブを開催。飲食店前にイスとテーブルを並べ、飲食と音楽を楽しむようにしたところ、課題だった平日夜の来街者数と滞留時間がともに伸び、若者の来街も目立つようになった。

所在地：岡山県岡山市北区駅前町1-6-11
 TEL：086-222-4106 FAX：086-222-5670
 URL：<http://ekimae.okayama.co/>
 組合員数：67名
 商店街の類型：広域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

岡山駅の東口から東西280mに及ぶアーケード型商店街。駅に近い立地の良さから、飲食店やホテル等のサービス業が多く、同じ街区内の大規模スーパーや量販店と共存し、地域住民や通勤・通学客など幅広い層を顧客としている。販促行事は、季節ごとのアーケード飾り付け、イルミネーションの設置に加え、ゴールデンフェスタや大誓文(せいもん)払い(売出し)のほか、青年部が中心となって土曜夜市や婚活イベントなどを開催している。週末の集客は相応数が見込めるが、平日、特に月曜、火曜の夕方から夜は帰宅者が通過するだけで、各店舗の客数、売上高とも低迷しており、平日夜の来街者増と滞留時間の伸長が課題となっていた。

実施した事業の概要

①火曜ジャズナイト

(平成25年6月25日～10月22日までの第2・第4火曜日に8回開催)

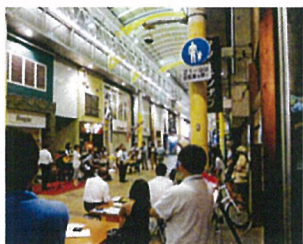
客足が遠のく平日火曜の18時～21時に、街区内の3つのエリア(路上)でジャズの生演奏を実施。飲食店の前にテーブルや椅子を並べ、テイクアウトで食事や飲み物を提供し、音楽を聴きながら飲食を楽しんで頂いた。これにより、アーケード内での滞留時間が伸び、来街者や個店の売り上げ増加につながった。企画・運営は青年部が中心となり、岡山大学ジャズ研究会と連携して、ジャズストリート実行委員会を結成し、出演者の手配や会場設営等を行った。広報では、チラシやポスターの作成に加え、プレスリリースによる情報配信、地域情報サイトにバナーを貼って特設ホームページへ誘導する等、若者の取込みを意識した。

②ジャズフェスティバル(平成25年11月2日～4日開催)

「音楽と食を楽しむ商店街」をさらにアピールするため、11月2日～4日の昼間(13時～16時)にも3日連続で路上ジャズライブを開催。「火曜ジャズナイト」のスペシャル版として、幅広い層の集客を図った。最終日の4日は18:00～20:00まで、組合員店舗(レストランバーMOBY)の店内でジャズコンサートを行い、千秋楽を締めくくった。



成果と成功の要因



ジャズナイト開催時は、1ステージに100名以上の観客を集めた。1日3ヶ所×8回開催し、延べ2,400名を超える集客となった。この影響で歩行者通行量が平時の1.2倍に増えた。また滞留時間が伸びたことで、飲食店のうちの9割が売上増加と回答、「用意していた食材がすべて無くなった」「売上が通常の倍になった」という報告もあり、夜間のイベントのため物販店よりも飲食店に効果が顕著に現れた。

ジャズフェスティバルの中日(11月3日)は休日の昼間ということで、前年の1.8倍に当たる1万名超が来街し、商店街全体の売上高も前年比約1.5倍となり、幅広い層に「音楽と食を楽しむ商店街」をアピールできた。また、事業に大学生が参加したことで、イベント開催日以外でも若者や女性の来街が目立つようになった。

今後の取り組み

今回の事業で立ち上げた「ジャズストリート実行委員会」を通じて、今後もジャズミュージシャンとのつながりを強め、演奏者を登録し、日常的に路上ライブができる体制を整える。さらにイベントの回数を増やし、他のイベントにもジャズバンドを入れて「商店街＝ジャズ」のイメージの定着を図るほか、商店街のHPでイベントの内容を随時発信し、若年層を中心に来街者を増やしていく。また、大きな催事に合わせて青年部が商店街ブランド品(地ビールやオリジナル料理)の展示販売を行い、活動資金の確保と商店街の認知度向上を図る。